



多様性を理解し、子どもの個性を見つめる。

特別支援教育専攻では、一人ひとりの子どもの特性を理解し、特別な配慮を実践できる教員を目指します。特別支援学校、あるいは小・中学校の特別支援学級の教員として、一人ひとりの子どもの特性に対応した指導・支援を工夫していける力を培っていきます。特別支援教育専攻では、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱の5領域の教員免許状を取得できます。また、その基盤として小学校の教育に関するカリキュラムを位置付けています。



「子どもキャンパス」を通した子どもとのかかわり



動作法・月例会での研修の様子



視覚障害領域のアセスメント(演習)

4年間の学び

1、2年次には、特別支援教育の概論のほか、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱の5領域すべての障害について、指導法や心理・生理・病理学等を広く学びます。3年次からは、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由の4領域から一つの領域を選択し、学びを深めていきます。また、特別支援学校、小学校、福祉施設等の学外実習等を通して、実践力を高めます。右の写真のように附属特別支援学校と大学をテレビ会議システムで結び、リアルタイムで授業を見ることができるといった環境も整備されています。



撮影用タブレット端末



コンサルタント

附属特別支援学校での動画撮影の様子 動画視聴をしながらコンサルテーションの様子

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】

特別支援学校教諭一種免許状
小学校教諭一種免許状

【所定の科目履修で取得可能とする免許状】

中学校教諭二種免許状^(※)
幼稚園教諭二種免許状

※ 入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。

先輩Voice

学校教員養成課程 特別支援教育専攻4年
愛知県立刈谷北高等学校出身



障害のある子どもたちが

もっと安心して学べるように。

多角的な視点での支援を学んでいます。

本専攻の魅力は、5領域すべての障害種について学びを深められることです。一人一人の子どもへの理解を深め、多角的な視点で支援や配慮について考えることができます。私自身は、子どもの頃から弱視ということもあり、視覚障害教育に興味があります。見えない・見えにくい子どものための教材や指導法、視覚以外の感覚を活用して学ぶ方法などを探究しています。卒業後は、さまざまな困難を抱える子どもたちが、安心して学び、よりよく生きるための環境づくりや教育的支援を行っていくことが目標です。

■ 2023年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等社会科教育内容A		初等英語科教育法B	初等算数科教育内容A	ポルトガル語II
2時限	初等音楽科教育内容A	点字の基礎	初等体育科教育法A	聴覚障害者心理・生理概論	
3時限	教育システム論	英語コミュニケーションII	この時間を使って「学校体験活動I」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	ライティングI	病弱者の教育課程・指導法
4時限		知的障害者心理・生理概論		英語学演習I	
5時限				英語学講義I	